

田富小だより

令和5年度
第4号
7月21日
田富小学校



1学期を終えて

71日間の1学期が終わりました。5月の感染症5類移行以来、通常の授業や学校行事が以前の姿に戻ってきた…そんな1学期でした。運動会については、以前にお伝えした通り、とても有意義なものとなりました。その後、学校開放日や水泳の授業など、ほぼこれまでと同じように実施できるようになりました。

調理実習についても、以前のように行われました。5年生は、「ほうれん草のおひたしと煎茶」、6年生は、理科の学習で育てたジャガイモなどを使った「簡単なおかず」、2年生は、生活科で育てた野菜を使った「夏野菜カレー」を作りました。どの学年も充実した実習になったようで、子ども達も笑顔で学んでいる姿が印象的でした。

水泳の授業も、昨年度までの「社会的距離」を意識したものではなく、これまで通りの授業を展開することができました。ただ、2年間のブランク（昨年度はいろいろな制約がありました）が、水泳の授業を実施することができたので、水泳ができなかったのは、実質2年間でした）があったためか、初めはなかなか上手に泳ぐことができない子が多くいましたが、回数を重ねるにしたがって、だんだん水をうまくとらえて泳ぐことができるようになってきました。何より、例年に比べ暑い日が多かった7月には、笑顔で楽しそうにはしゃぐ子ども達の姿がとても印象的でした。6年生は、プール開設の最終日、専門の講師を招いて「着衣水泳」についての出前授業を受けました。夏に向けて、水の事故が多く報道されているのはみなさんもお存知の通りです。水難事故は未然に防ぐことが最も大切ですが、万が一の場合に自分や周囲にいる人の命をどのように守るのかというのは、とても大切なことです。そんな大切な学びができ、貴重な時間をすごすことができたことがとてもよかったです。

コロナ禍でなかなかできなかった教育実践が、非常に大切な位置付けであったことを再確認することができた1学期でした。

そして、7月21日の終業式を最後に、長い夏休みに入ります。土日・祝日も含め、37日間の休

みになります。学校での規則正しい生活を離れ、自らの生活を自ら律していくことが必要になります。規則正しい生活を基本に楽しく、有意義な休みになるように、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、保護者の皆様、子ども守り隊の方をはじめとする地域の方々、本校教育活動についてのご理解・ご協力をありがとうございました。夏休み、2学期以降も引き続き宜しくお願いいたします。



夏休みの課題について

楽しいことがいっぱい夏休み。「夏休みの友」とはいえ、なかなか友達感覚になれないこの学習課題をはじめ、絵画や工作、感想文や自由研究など様々な課題に取り組むこととなります。休みが始まった頃は、気分的にも余裕がありますが、お盆が近づいてくる頃、まだやっていない課題がたくさんあることに焦りを感じた人もあろうかと思えます。そうならないように、夏休みの宿題は計画的に行いましょう。

さて、昨年、世界中を驚かせた小学生の自由研究があったことがネットに掲載されていました。た



いへん素晴らしいと感じたので、少し紹介したいと思います。それは、次のようなものでした。

「シマトネリコに集まるカブトムシの研究」

埼玉県 小学校5年生 柴田 亮さん

4年生の時に、夜行性であるはずのカブトムシが、昼間、柴田さんの家のシマトネリコの木にたくさん集まっていたのを見つけ、不思議に思い観察したのが始まり。両親もなぜそのような現象が起きるのか理解できず、いろいろと調べてみたが、解決には至らなかった。

唯一手掛かりとなったのは、図書館で借りてきた「私のカブトムシ研究」という本だけだった。亮さんはこの本の筆者である小島 渉先生（山口大学：専門は動物生態学）にその理由を尋ねたところ、小学生の自由研究であったが、しっかりと返答があった。ただ、理由は「わからない」ということだったようだ。そして、「今行っている観察は非常に意義深いものであるので、継続してほしい」ことなども言われたという。その後、研究を継続し、大学の先生の協力もあり、権威ある学術誌において、この研究が掲載され、「カブトムシは夜行性である」という定説が覆されたのだという。

柴田さんの素晴らしい点は、何気ない日常の中でふと考えるきっかけを得たことです。夏休みの課題というところ、これまでであった研究の中から、興味あるものを選んで行うという人も多いと思いますが、柴田さんの研究は、自らのオリジナリティに溢れる研究であり、素敵だと思います。彼の研究に寄り添ったり、助言を贈ったりした両親や大学の先生も素晴らしいと思いました。周囲にいる者が子ども達の学びに大きな力を与えられたこともまた、とても大切なことだと思うのです。文部科学省からもそのガイドラインが出されている「生成AI」についてですが、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として提出することは適切ではないと示してあります。また、既存のデータではAIといえども今回のような研究は実現されなかったと思います。自分たちの周囲には、まだまだ解き明かされていないこともたくさんあります。長期休業の利点を活かして、柴田さんの行ったようなあっと驚く研究をしてほしいと思います。



1 学期ギャラリー

最後に、運動会以降の子ども達の学びの様子を写真で紹介したいと思います。



浄化センターの方による出前授業（4年）



甲府空襲展見学（6年）



清掃センター見学（4年）

2学期以降も子ども達の学びがより充実したものになるよう、職員一同努力していきたいと思っています。1学期間、ありがとうございました。また、まだまだ暑い夏が続きますが、子ども達も含め、保護者の皆様、地域の皆様も健康に留意して元気で楽しい夏休みをお過ごしください。